



6歳と3歳の子どもが急に吐いて、下痢をしました。食中毒ではないかと心配です。



食中毒とは、飲食物が原因の中毒です。夏は、外気温が高いので、菌が繁殖しやすいくなります。吐き気、おう吐(と)、腹痛、下痢などの症状が起こります。

複数の人が関与しますが、まれには数千人の規模で起こることもあります。

原因としては、食物の中に混入したサルモネラ、腸炎ヒブリオ、キャンピロバクターなど細菌による腸の感染です。

ノロウイルスなどのウイルスも集団食中毒の原因として注目されています。さらに、ブドウ球菌、ボツリヌス菌、腸管出血性大腸菌O157のよ

## 食中毒・・・子どもはかかりやすく、症状重い

うに、食物の保存中に増えた細菌が出す毒素によるものもあります。または、ふぐ毒、キノコなど自然にある毒素などによっても起こります。

原因によって、症状の出る早さ、症状の種類に違いがあります。ブドウ球菌は数時間後、O157大腸菌は3～5日たってから発病します。

特に子どもは、食中毒にかかりやすく、症状は成人よりもひどくなります。

食中毒の予防には、菌をつけないように清潔を保つこと、保存に注意して菌を増やさないこと、飲食時には十分に加熱して菌を殺すことが大切です。



### 子育て相談室

す。

〈水戸市中丸町の平野こどもクリニック院長・平野岳毅〉